

講 義 概 要

科目名	地域・在宅看護方法論Ⅱ	2 学年	時間 単位	30時間 1単位
担当講師	藤原 敦子（看護実務経験10年）			
<授業のねらい> 在宅看護の方法を理解し、必要な基礎的技術を身につける				
<講義内容> ・在宅看護技術の特徴 ・在宅における日常生活の援助(食事・排泄・清潔・睡眠・移動) ・在宅における処置を伴う援助 経腸栄養法・在宅中心静脈栄養法・尿道留置カテーテル・自己導尿・在宅酸素療法・ 気管カニューレ・吸引・自己注射法・感染予防 ・薬物療法・服薬管理・褥瘡 ・終末期ケア・在宅緩和ケア				
<教科書・参考書> 系統看護学講座 専門分野 在宅看護論Ⅱ 医学書院 根拠がわかる在宅看護技術 メヂカルフレンド社				
<評価方法> 筆記試験 30時間のうち1時間を試験にあてる				
<配点> 100点				